

### 超小型 120mA LDO レギュレータ

NO.JA-066-120404

#### ■ 概要

R1140QシリーズはCMOSプロセス技術を用いて開発した、高精度、低消費電流の正電圧ボルテージレギュレータICで、基準電圧源、誤差増幅器、出力電圧設定用抵抗網、出力電流制限回路、等から構成されています。

出力電圧はIC内で固定されています。

過電流による破壊防止のため、出力電流制限回路を内蔵しております。

又、スタンバイ端子により、超低消費電流のスタンバイモードが実現できます。

パッケージは超小型のSC-82AB（スーパーミニモールド）に実装することにより、高密度実装を狙った製品となっています。

#### ■ 特長

- 低消費電流 ..... TYP. 75 $\mu$ A
- 低消費電流(スタンバイ時) ..... TYP. 0.1 $\mu$ A
- 入出力電圧差 ..... TYP. 0.15V ( $I_{OUT}=100\text{mA}$ ,  $V_{OUT}=3.0\text{V}$ )
- リップル除去率 ..... TYP. 75dB ( $f=1\text{kHz}$ )
- 出力電圧の温度係数が小さい ..... TYP.  $\pm 100\text{ppm}/^{\circ}\text{C}$
- 入力安定度が良い ..... TYP. 0.05%/V
- 出力電圧範囲 ..... 1.5V~4.0V
- 出力電圧精度が高い .....  $\pm 2.0\%$
- 超小型パッケージ ..... SC-82AB (スーパーミニモールド)
- 短絡電流制限回路内蔵 ..... TYP. 40mA

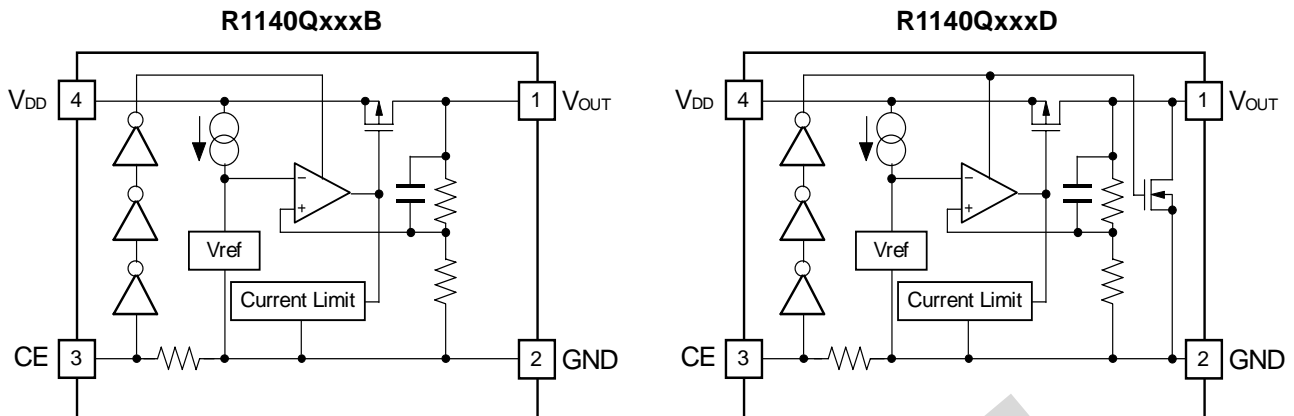
#### ■ アプリケーション

- バッテリー使用機器の定電圧電源
- カメラ、ビデオ、携帯用通信機器の定電圧電源
- 高安定基準電圧源

# R1140Q

生産終了品

## ■ ブロック図



## ■ セレクションガイド

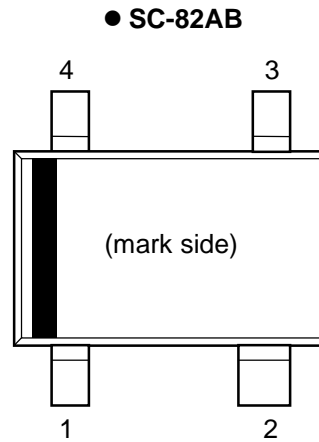
R1140Qシリーズは出力電圧、パッケージ、自動ディスチャージ機能の有無、梱包等を用途によって選択指定することができます。

選択指定の方法はデバイスの型式番号を用いて下記のように行います。

R1140Q $\overset{\uparrow}{\text{xx}}$  $\overset{\uparrow}{\text{1}}$  $\overset{\uparrow}{\text{x}}$ - $\overset{\uparrow}{\text{TR}}$ - $\overset{\uparrow}{\text{x}}$  ←形式番号  
 $\uparrow$   $\uparrow$   $\uparrow$   $\uparrow$   
 a b c d

番号	内容
a	出力電圧 (V <sub>OUT</sub> ) の指定に用います。 V <sub>OUT</sub> の指定は 1.5V~4.0V の範囲で 0.1V 単位にて指定可能
b	CE による OFF 時の自動ディスチャージ機能の有無の指定に用います。 B: オートディスチャージ機能無し D: オートディスチャージ機能有り
c	テーピングの指定に用います。 TR のみ (テーピング仕様参照)
d	端子メッキの指定に用います。 -F: 鉛フリーメッキ

## ■ 端子接続図



## ■ 端子説明

端子番号	端子名	機能
1	V <sub>OUT</sub>	出力端子
2	GND	グラウンド端子
3	CE	チップイネーブル端子
4	V <sub>DD</sub>	入力端子

## ■ 絶対最大定格

記号	項目	定格	単位
V <sub>IN</sub>	入力電圧	6.5	V
V <sub>CE</sub>	入力電圧 (CE 端子)	-0.3 ~ V <sub>IN</sub> +0.3	V
V <sub>OUT</sub>	出力電圧	-0.3 ~ V <sub>IN</sub> +0.3	V
I <sub>OUT</sub>	出力電流	140	mA
P <sub>D</sub>	許容損失(SC-82AB)*	380	mW
T <sub>opt</sub>	動作周囲温度	-40 ~ 85	°C
T <sub>stg</sub>	保存周囲温度	-55 ~ 125	°C

\*) 許容損失、標準実装条件については、後のパッケージ情報に詳しく記述していますので、参照下さい。

# R1140Q

生産終了品

## ■ 電気的特性

### ● R1140Qxx1B/D

(T<sub>opt</sub>=25°C)

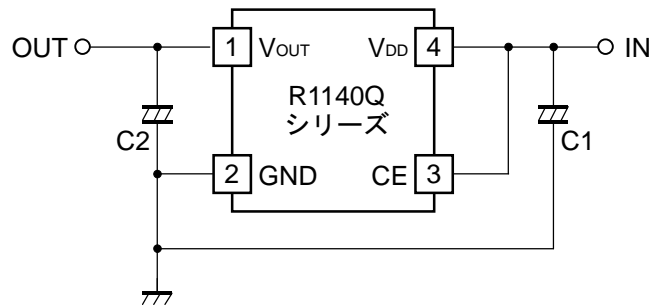
記号	項目	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位
V <sub>OUT</sub>	出力電圧	V <sub>IN</sub> -V <sub>OUT</sub> =1.0V 1mA ≤ I <sub>OUT</sub> ≤ 30mA	×0.98		×1.02	V
I <sub>OUT</sub>	出力電流	V <sub>IN</sub> -V <sub>OUT</sub> =1.0V	120			mA
ΔV <sub>OUT</sub> /ΔI <sub>OUT</sub>	負荷安定度	V <sub>IN</sub> -V <sub>OUT</sub> =1.0V 1mA ≤ I <sub>OUT</sub> ≤ 120mA		20	40	mV
V <sub>DIF</sub>	入出力電圧差	出力電圧別電気的特性参照				
I <sub>SS</sub>	消費電流	V <sub>IN</sub> -V <sub>OUT</sub> =1.0V		75	150	μA
I <sub>standby</sub>	消費電流 (スタンバイ時)	V <sub>IN</sub> -V <sub>OUT</sub> =1.0V, V <sub>CE</sub> =GND		0.1	1.0	μA
ΔV <sub>OUT</sub> /ΔV <sub>IN</sub>	入力安定度	I <sub>OUT</sub> =30mA V <sub>OUT</sub> +0.5V ≤ V <sub>IN</sub> ≤ 6.0V V <sub>OUT</sub> ≤ 1.6V の時は 2.2V ≤ V <sub>IN</sub> ≤ 6.0V		0.05	0.20	%/V
RR	リップル除去率	f=1kHz, リップル 0.5Vp-p V <sub>IN</sub> -V <sub>OUT</sub> =1.0V, I <sub>OUT</sub> =30mA V <sub>OUT</sub> ≤ 1.7V の時は V <sub>IN</sub> -V <sub>OUT</sub> =1.2V		75		dB
V <sub>IN</sub>	入力電圧		2.2		6.0	V
ΔV <sub>OUT</sub> /ΔT	出力電圧温度係数	I <sub>OUT</sub> =30mA -40°C ≤ T <sub>opt</sub> ≤ 85°C		±100		ppm/°C
I <sub>lim</sub>	短絡電流	V <sub>OUT</sub> =0V		40		mA
R <sub>PD</sub>	$\overline{CE}$ プルダウン抵抗		1.5	4.0	16.0	MΩ
V <sub>CEH</sub>	$\overline{CE}$ 入力電圧 "H"		1.5		V <sub>IN</sub>	V
V <sub>CEL</sub>	$\overline{CE}$ 入力電圧 "L"		0.0		0.3	V
en	出力雑音電圧	BW=10Hz~100kHz		30		μVrms
R <sub>LOW</sub>	LOW 出力 Nch ON 抵抗 (D バージョンのみ)	V <sub>CE</sub> =0V		70		Ω

### ● 出力電圧別電気的特性

(T<sub>opt</sub>=25°C)

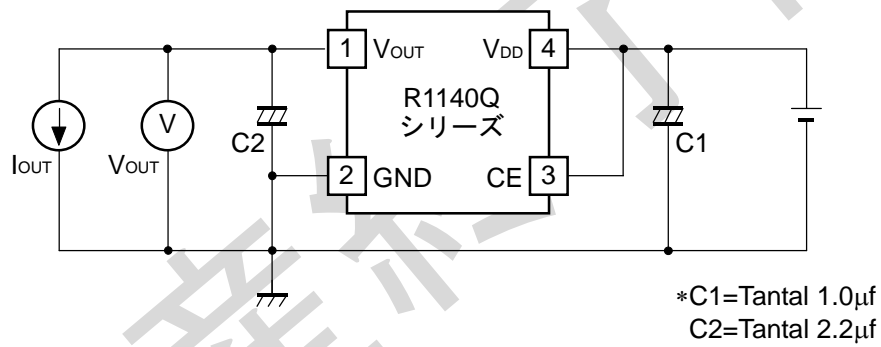
出力電圧 V <sub>OUT</sub> (V)	入出力電圧差		
	V <sub>DIF</sub> (V)		
	条件	TYP.	MAX.
1.5 ≤ V <sub>OUT</sub> ≤ 1.6	I <sub>OUT</sub> = 120mA	0.36	0.70
1.7 ≤ V <sub>OUT</sub> ≤ 1.8		0.30	0.50
1.9 ≤ V <sub>OUT</sub> ≤ 2.0		0.28	0.45
2.1 ≤ V <sub>OUT</sub> ≤ 2.7		0.24	0.40
2.8 ≤ V <sub>OUT</sub> ≤ 4.0		0.18	0.30

## ■ 基本回路例

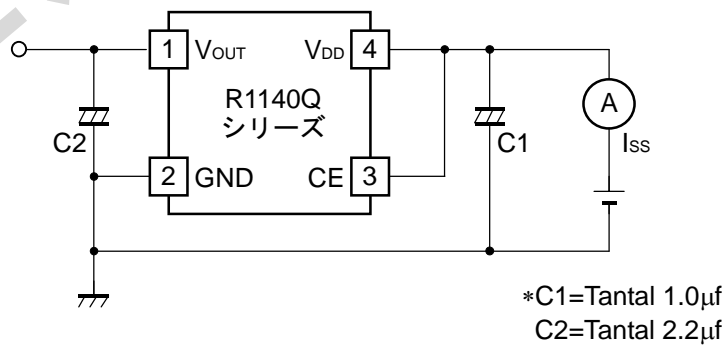


(外付け部品参考例)  
・出力コンデンサ  
タンタルコンデンサ

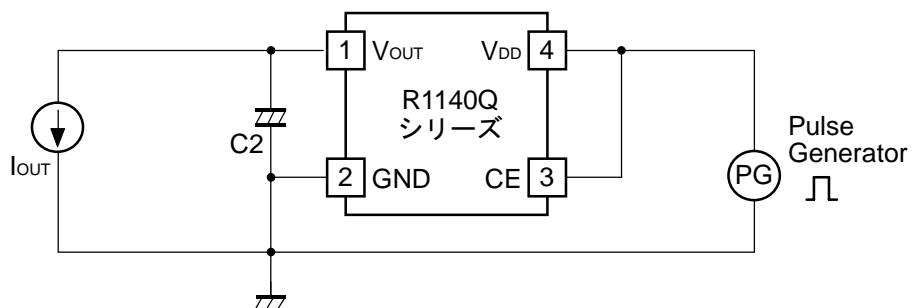
## ■ 測定回路



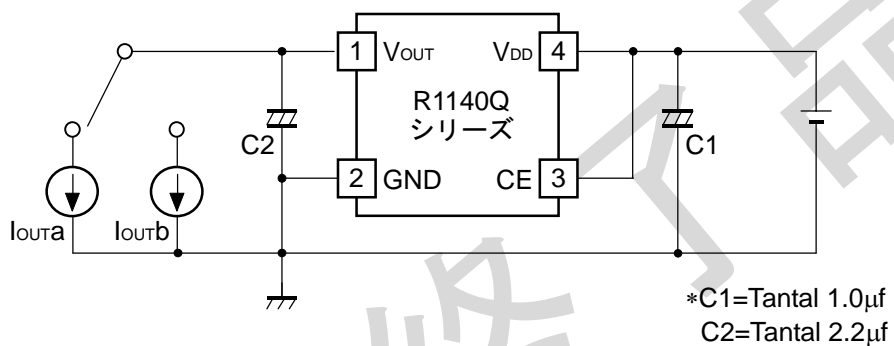
基本測定回路



消費電流測定回路



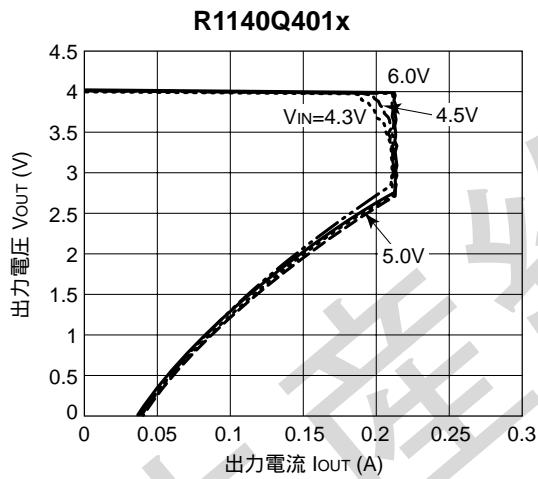
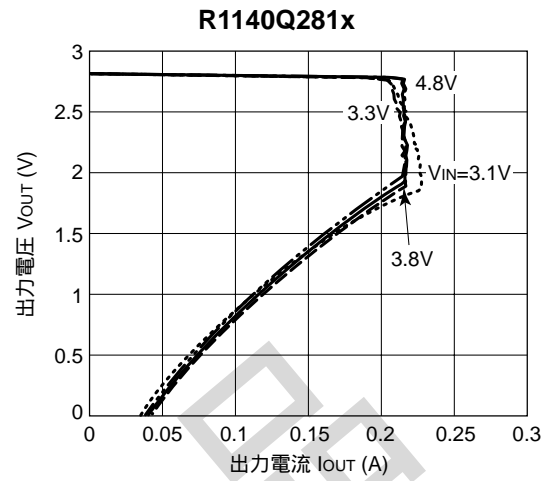
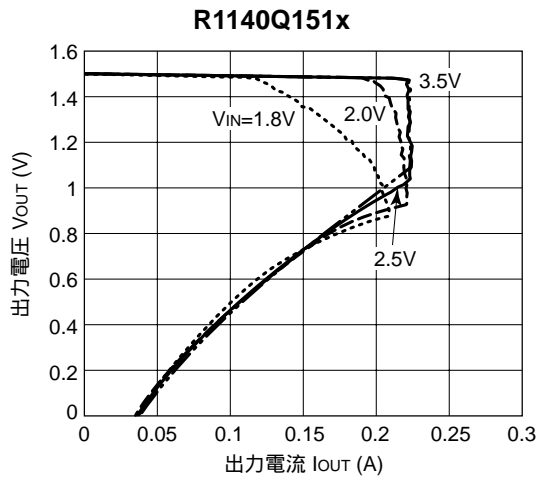
リップル除去率 入力過渡応答特性 測定回路



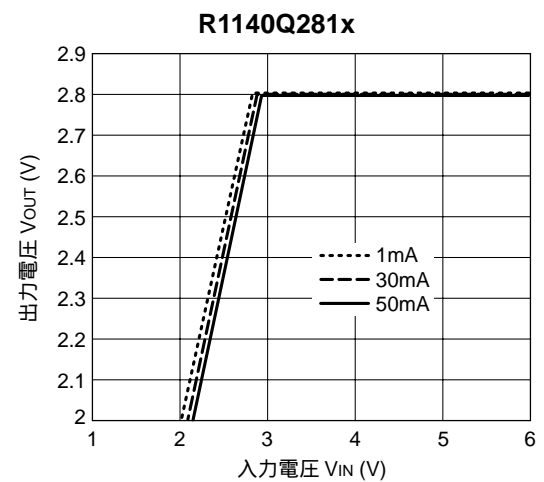
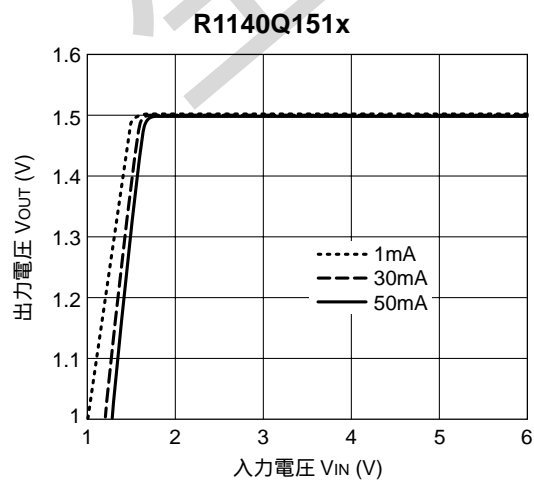
負荷過渡応答測定回路

## ■ 特性例

### 1) 出力電圧対出力電流特性例

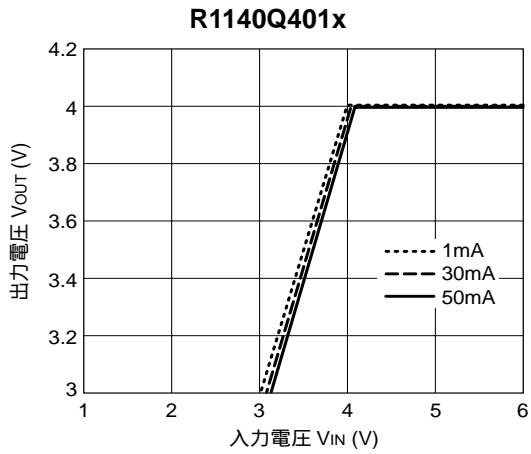


### 2) 出力電圧対入力電圧特性例

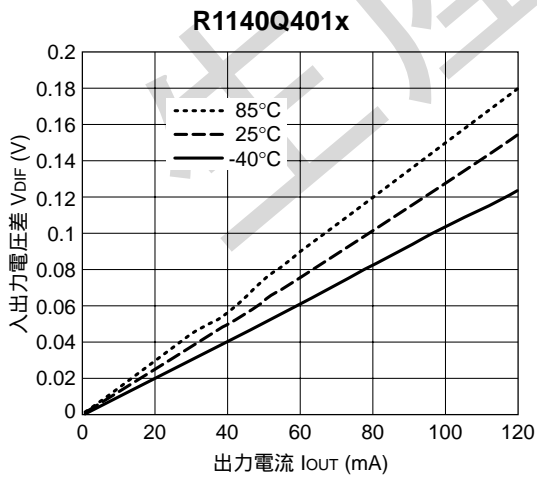
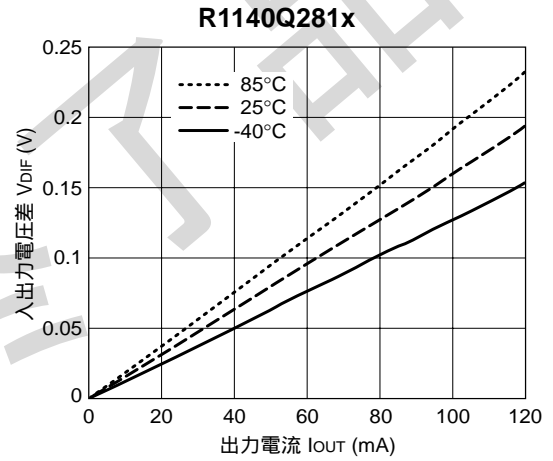
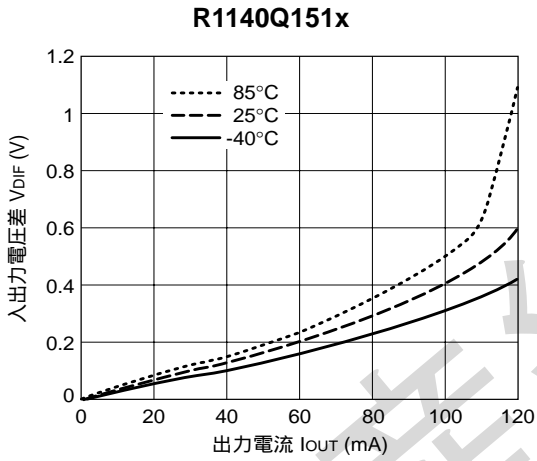


# R1140Q

生産終了品

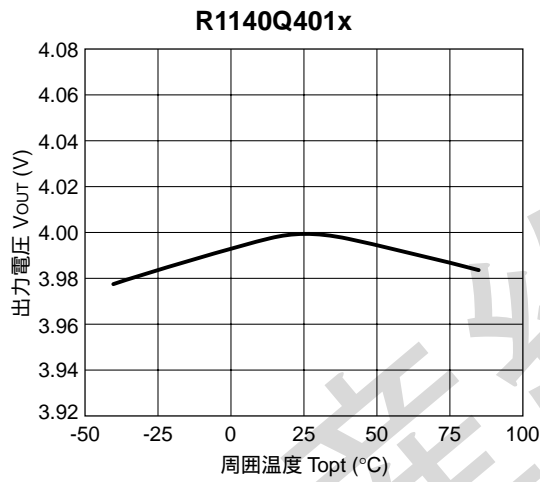
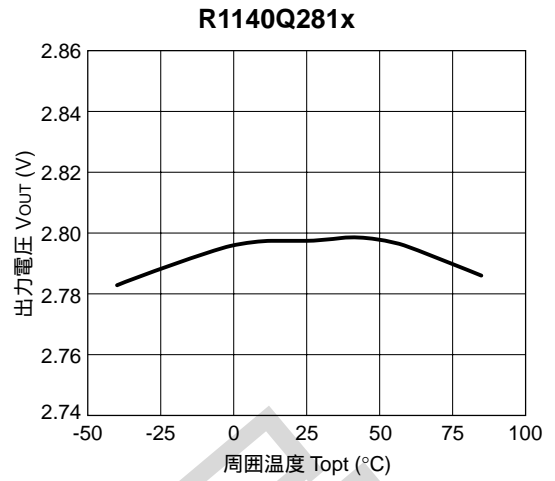
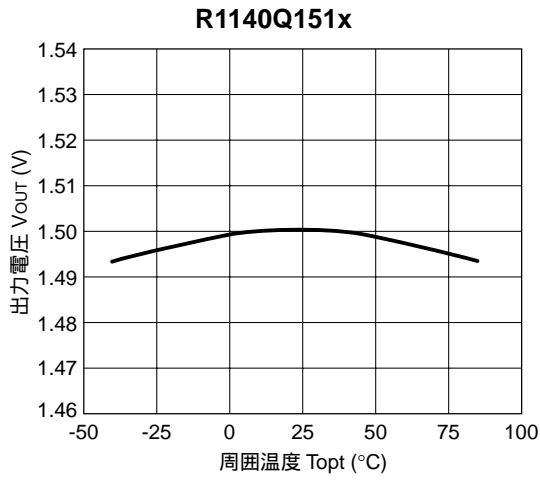


### 3) 入出力電圧差対出力電流特性例

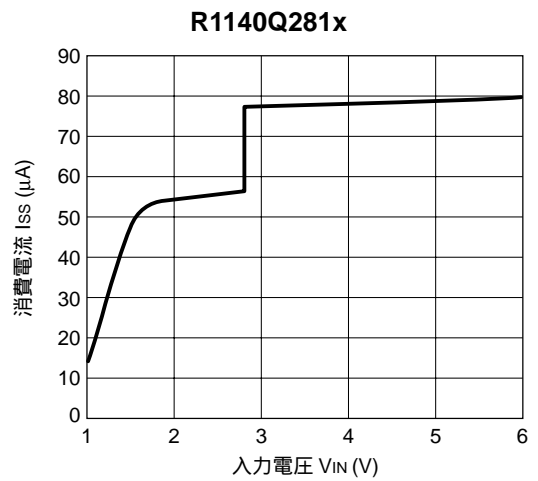
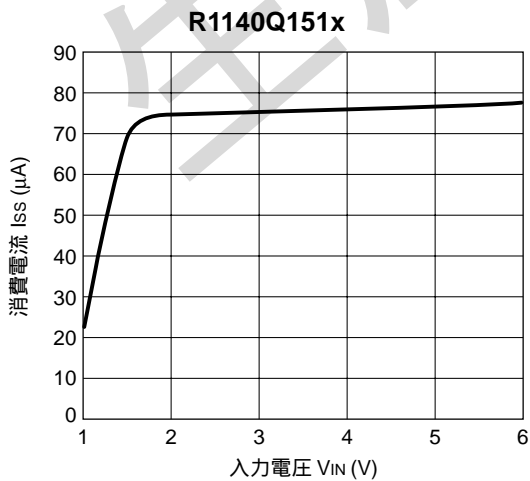




4) 出力電圧対周囲温度特性例

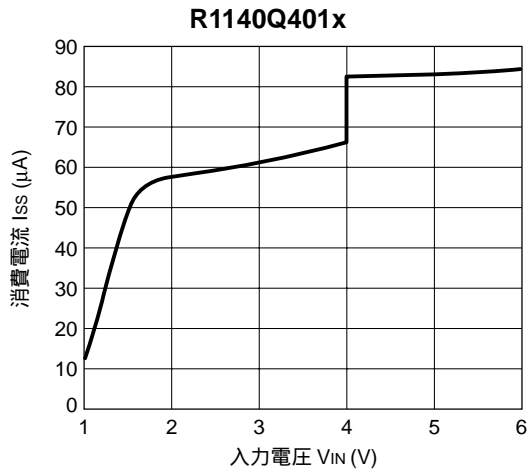


5) 消費電流対入力電圧特性例

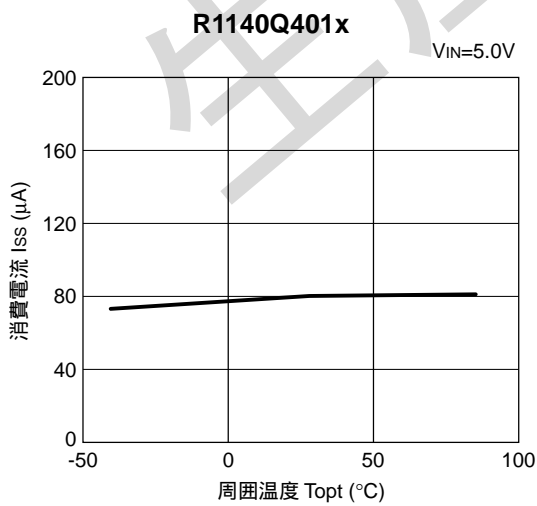
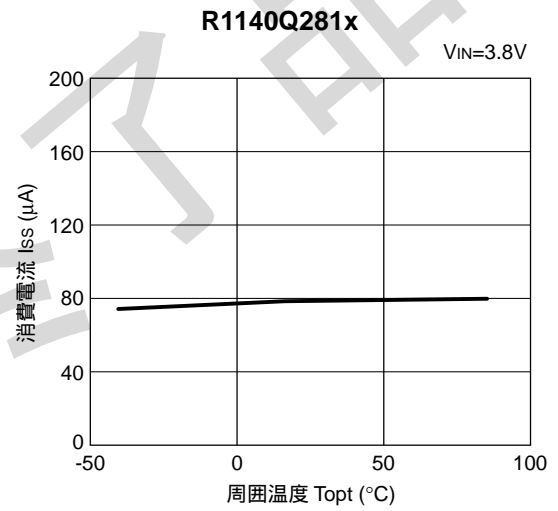
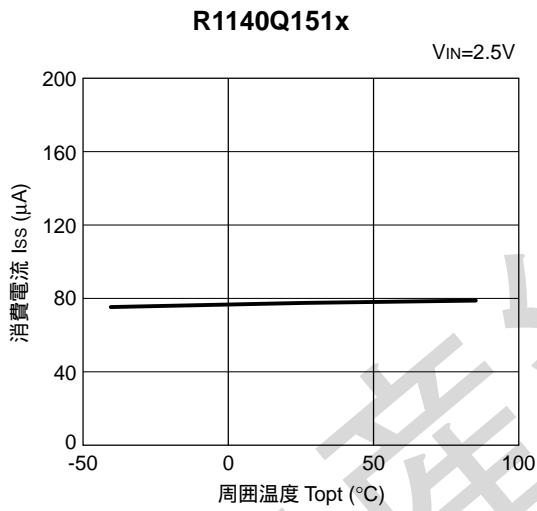


# R1140Q

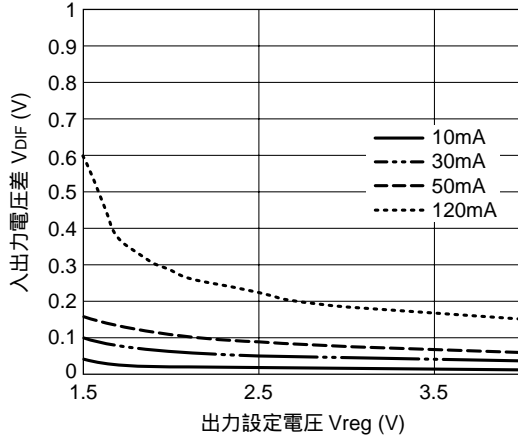
生産終了品



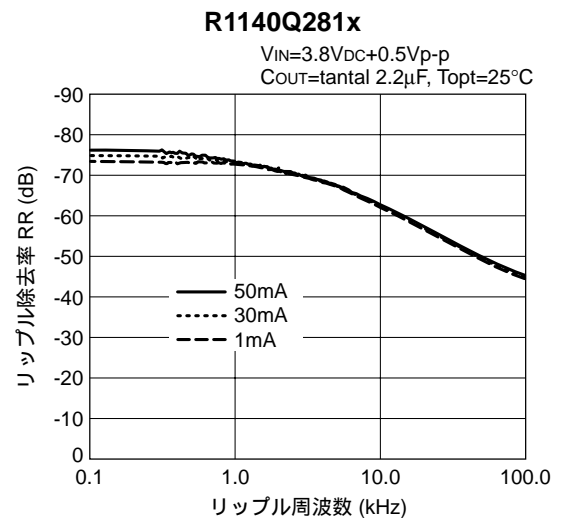
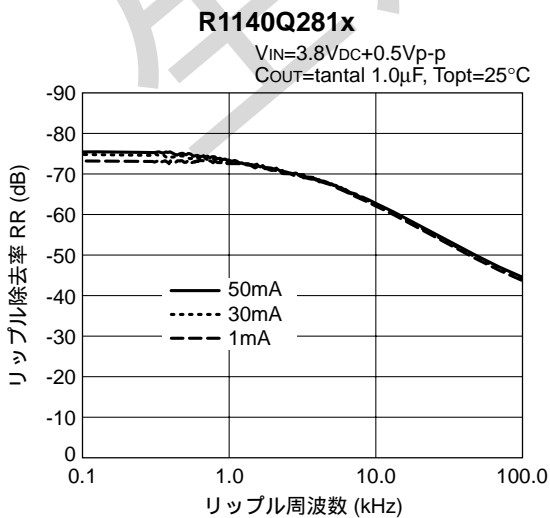
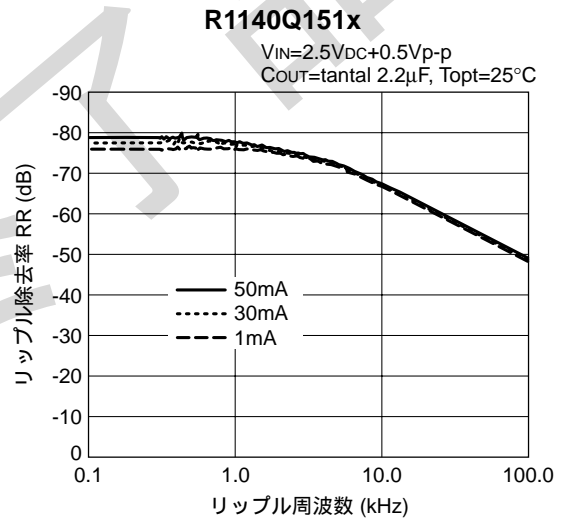
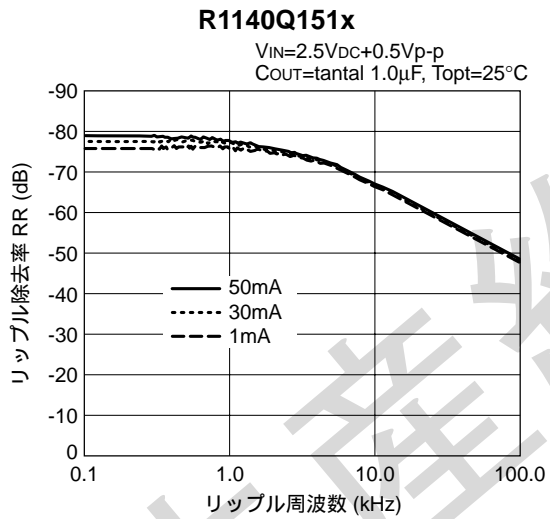
## 6) 消費電流对周围温度特性例

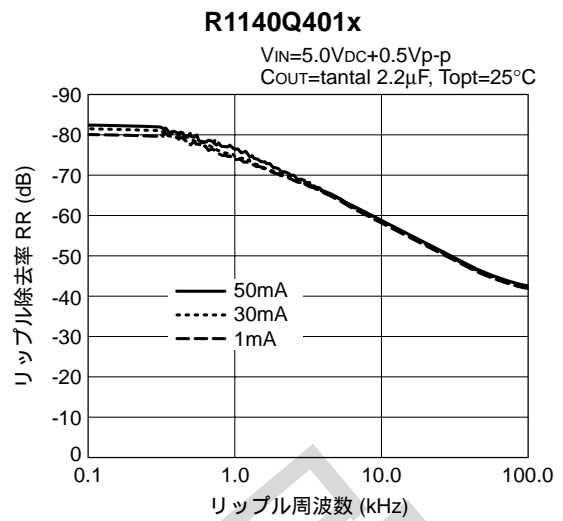
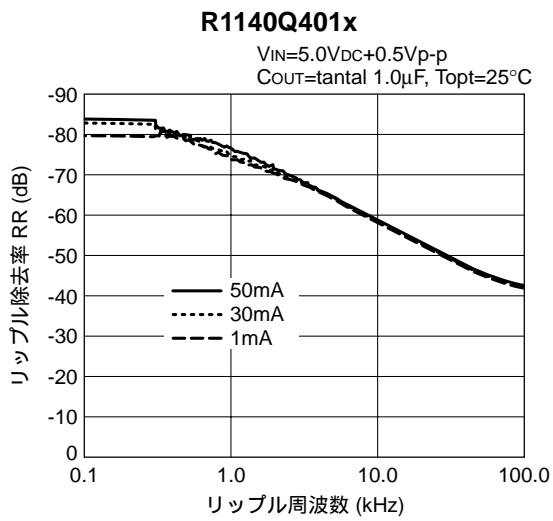


7) 入出力電圧差対設定電圧特性例

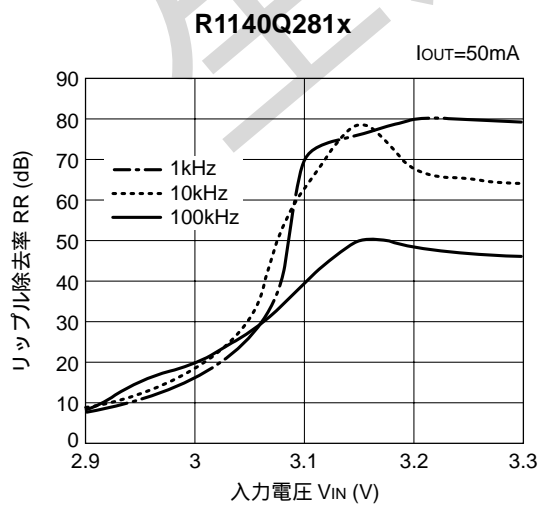
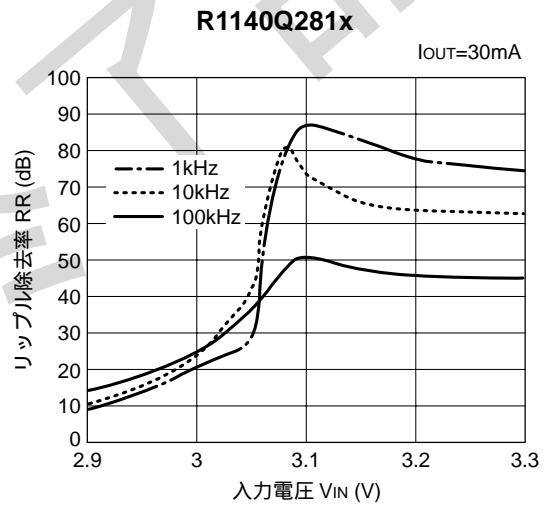
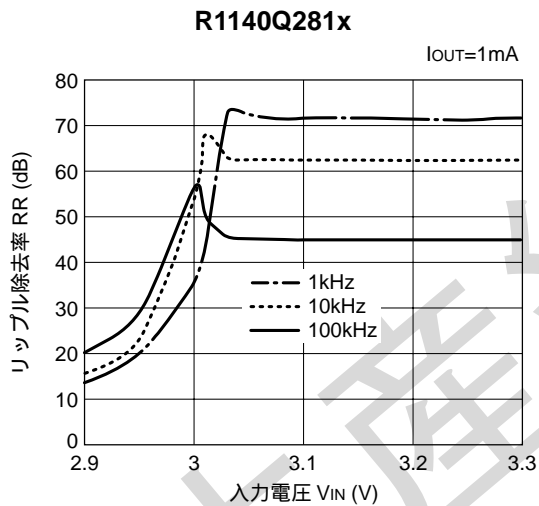


8) リップル除去率対周波数特性例



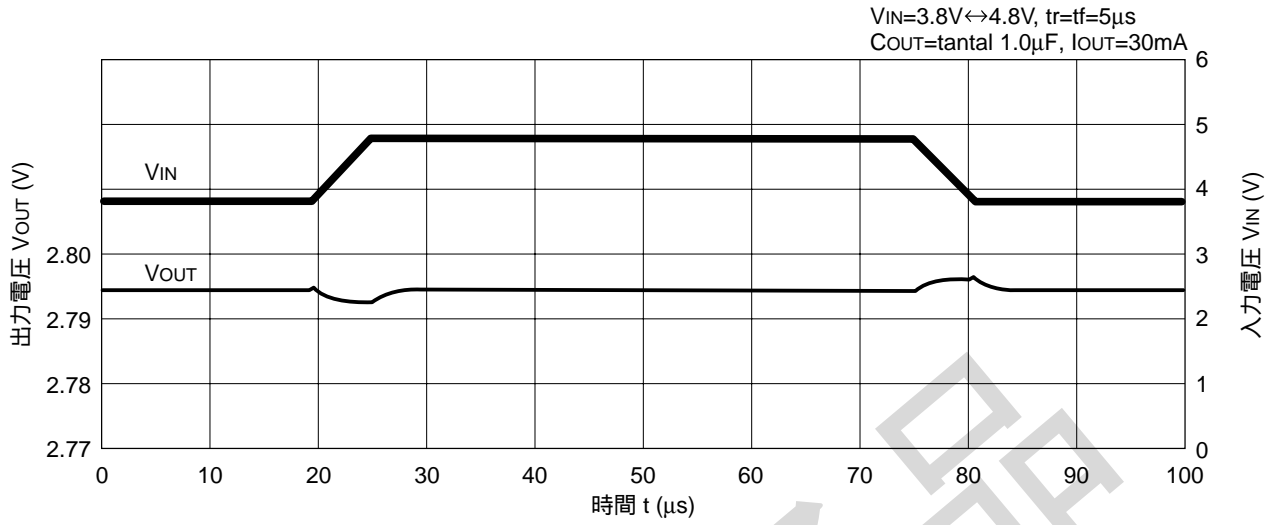


9) リプル除去率対入力バイアス電圧特性例

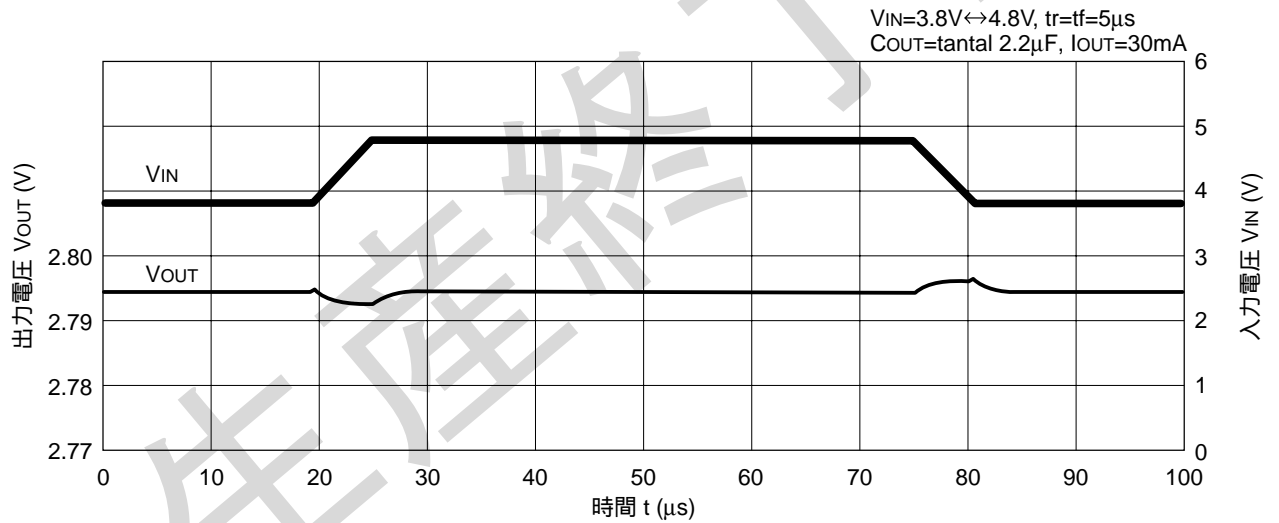


10) 入力過渡応答特性例

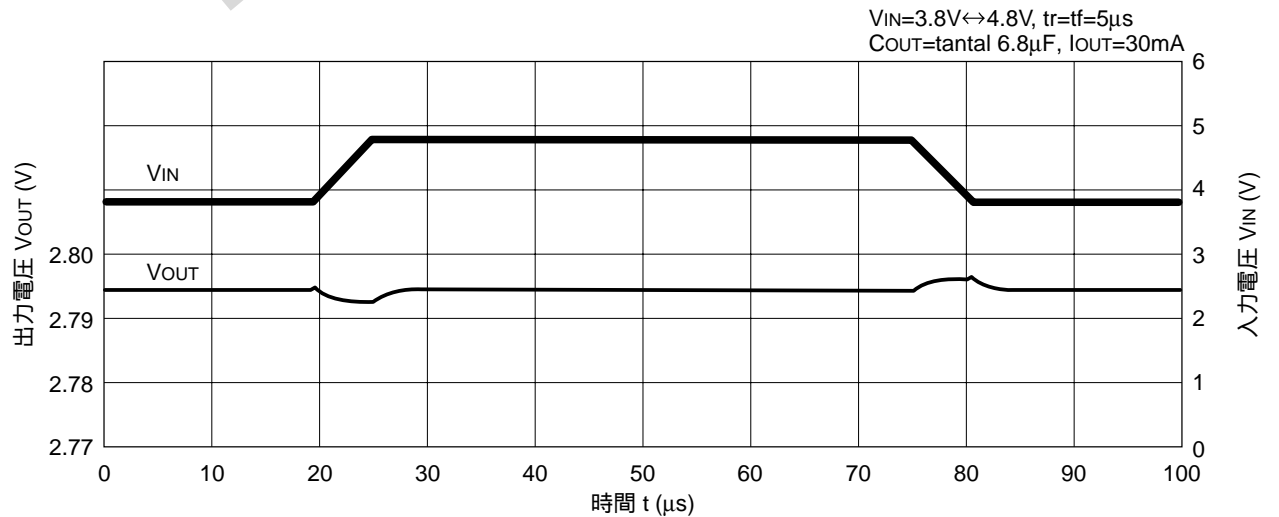
R1140Q281x



R1140Q281x



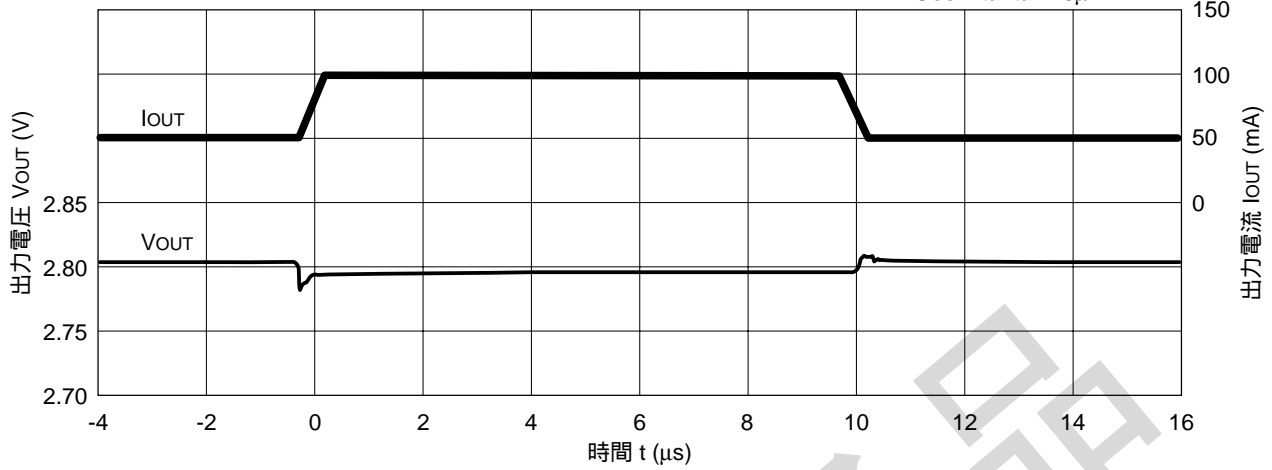
R1140Q281x



11)負荷過渡応答特性例

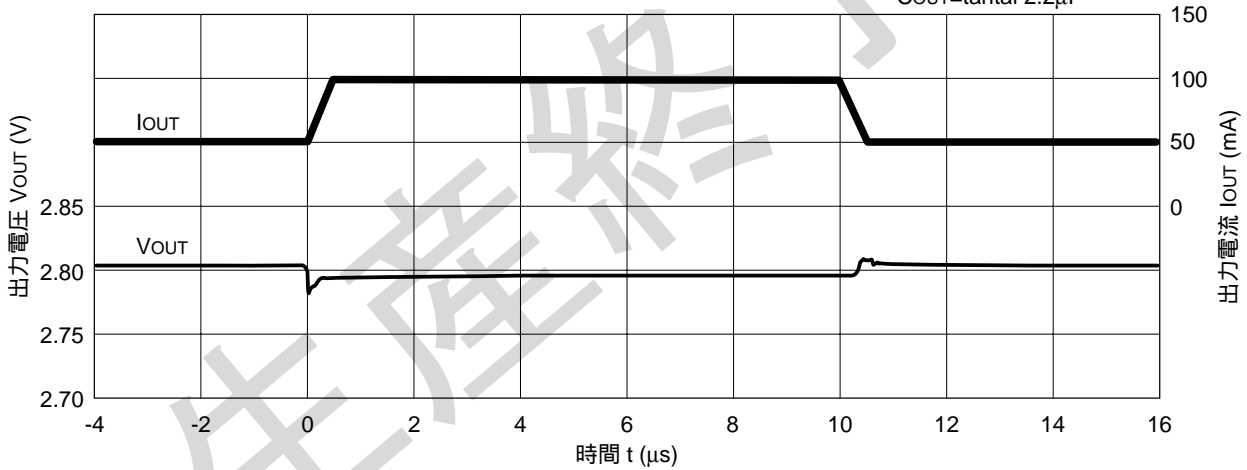
R1140Q281x

VIN=3.8V, CIN=tantal 1.0 $\mu$ F  
COUT=tantal 1.0 $\mu$ F



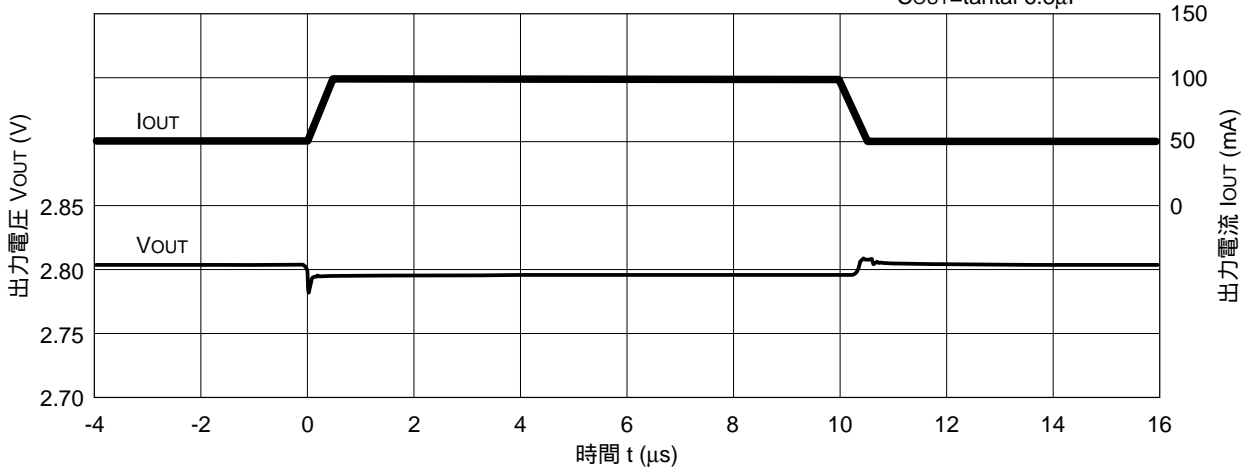
R1140Q281x

VIN=3.8V, CIN=tantal 1.0 $\mu$ F  
COUT=tantal 2.2 $\mu$ F



R1140Q281x

VIN=3.8V, CIN=tantal 1.0 $\mu$ F  
COUT=tantal 6.8 $\mu$ F



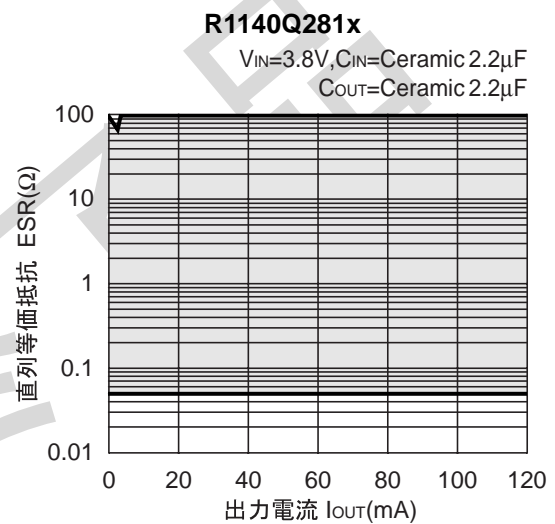
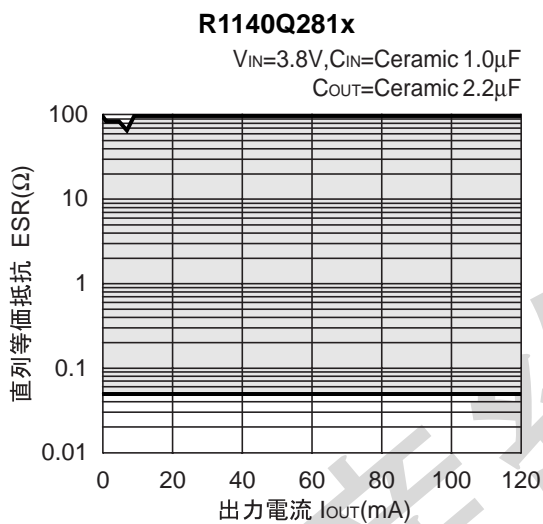
## ■ 直列等価抵抗値対出力電流特性例

### 位相補償について

本ICは、出力負荷が変化しても安定に動作させるために出力段にて位相補償を行っています。このため出力端子には、周波数特性がよく、また、後述のノイズレベルが約 $40\mu\text{V}$  (Avg.) 以下になる負荷電流 ( $I_{\text{out}}$ ) と、出力側コンデンサの直列等価抵抗 (ESR) が、関係図の範囲内にある $2.2\mu\text{F}$ 以上のコンデンサを必ず入れてください。セラミックコンデンサを使う場合は直列に $1\Omega$ 程度付けることにより、出力が安定します。

・  $V_{\text{IN}} = 3.8\text{V}$  ・ ノイズ周波数帯域 :  $10\text{Hz} \sim 2\text{MHz}$  ・ 測定温度 :  $25^\circ\text{C}$

斜線部 : ノイズレベル $40\mu\text{V}$  (Avg.) 以下



### 基板実装について

$V_{\text{DD}}$  及び GND 配線は、電流が流れるため配線のインピーダンスが高いとノイズのまわり込みや動作が不安定になる原因になるので充分強化して下さい。又、 $V_{\text{DD}}$  端子-GND 端子間に  $1\mu\text{F}$  程度以上の容量をできるだけ配線が短くなるように付けて下さい。さらに、位相補償用の出力側コンデンサについては  $V_{\text{out}}$  端子と電源 GND 間にできるだけ配線が短くなるように付けて下さい。(基本回路例参照)



本ドキュメント掲載の技術情報及び半導体のご使用につきましては以下の点にご注意ください。

1. 本ドキュメントに記載しております製品及び製品仕様は、改良などのため、予告なく変更することがあります。又、製造を中止する場合がありますので、ご採用にあたりましては当社又は販売店に最新の情報をお問合せください。
2. 文書による当社の承諾なしで、本ドキュメントの一部、又は全部をいかなる形でも転載又は複製されることは、堅くお断り申し上げます。
3. 本ドキュメントに記載しております製品及び技術情報のうち、「外国為替及び外国貿易管理法」に該当するものを輸出される場合、又は国外に持ち出される場合は、同法に基づき日本国政府の輸出許可が必要です。
4. 本ドキュメントに記載しております製品及び技術情報は、製品を理解していただくためのものであり、その使用に関して当社及び第三者の知的財産権その他の権利に対する保証、又は実施権の許諾を意味するものではありません。
5. 本ドキュメントに記載しております製品は、標準用途として一般的電子機器(事務機、通信機器、計測機器、家電製品、ゲーム機など)に使用されることを意図して設計されております。故障や誤動作が人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れのある特別な品質、信頼性が要求される装置(航空宇宙機器、原子力制御システム、交通機器、輸送機器、燃焼機器、各種安全装置、生命維持装置等)に使用される際には、必ず事前に当社にご相談ください。
6. 当社は品質、信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生します。故障の結果として人身事故、火災事故、社会的な損害等を生じさせない冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等安全設計に十分ご注意ください。誤った使用又は不適切な使用に起因するいかなる損害等についても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本ドキュメントに記載しております製品は、耐放射線設計はなされてございません。
8. X線照射により製品の機能・特性に影響を及ぼす場合があるため、評価段階で機能・特性を確認の上でご利用ください。
9. WLCSPパッケージの製品は、遮光状態でご利用ください。光照射環境下(動作、保管中含む)では、機能・特性に影響を及ぼす場合があるためご注意ください。
10. パッケージ捺印は、画像認識装置の仕様によって文字認識に差が生じることがあります。画像認識装置にて文字認識をする場合は、事前に弊社販売店または弊社営業担当者までお問い合わせください。
11. 本ドキュメント記載製品に関する詳細についてのお問合せ、その他お気付きの点がございましたら当社又は販売店までご照会ください。



当社は地球環境保全の観点から環境負荷物質の低減に取り組んでいます。

2006年4月1日以降、弊社はRoHS指令に適合した製品を提供しています。また、2012年4月1日以降は、ハロゲンフリー製品を提供しています。

**RICOH** リコー電子デバイス株式会社

弊社デバイスに関する詳しい内容をお知りになりたい方は下記へアクセスしてください。

<http://www.e-devices.ricoh.co.jp/>

本ドキュメント掲載製品に関するお問い合わせは下記宛までお願いします。

- 東日本地区 〒140-8655 東京都品川区東品川3-32-3  
03(5479)2854 (直) FAX 03(5479)0502
- 西日本地区 〒563-8501 大阪府池田市姫室町13-1  
072(748)6262 (直) FAX 072(753)2120

●お問い合わせ・ご用命は...